海の京都

もうひとつの京都を旅する

海の京都～Kyoto by the sea～

海の京都 一般社団法人　京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都ＤＭＯ）

もうひとつの京都とは

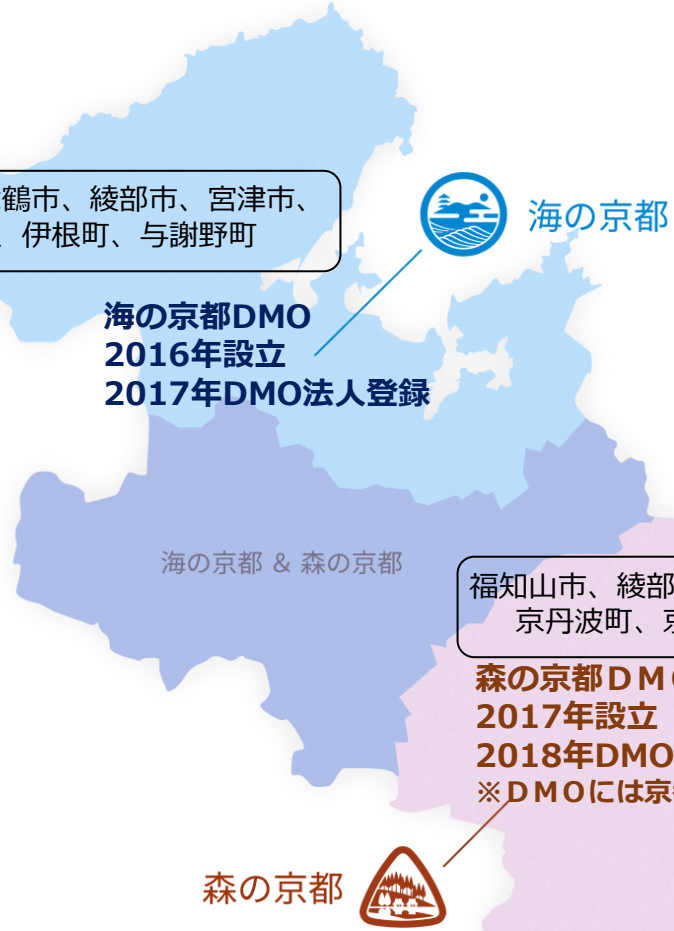
年間５千万を超える京都市内への観光客が、さらに足を伸ばしたくなるような、魅力的な京都府域の観光コンテンツを再発見し、ブラッシュアップしながら、国内外に紹介するプロジェクト

「海の京都」

「森の京都」

「お茶の京都」

「竹の里・乙訓」



福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、
京丹後市、伊根町、与謝野町

海の京都

海の京都DMO
2016年設立
2017年DMO法人登録

福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、
京丹波町、京都市右京区京北

森の京都ＤＭＯ
2017年設立
2018年DMO法人登録
※ＤＭＯには京都市右京区京北は未加入

森の京都

DMO KYOTO（京都市観光協会）
2017年ＤＭＯ法人登録

京都府観光連盟
2023年ＤＭＯ法人登録

向日市、長岡京市、大山崎町
京都・かぐや姫観光推進協議会

竹の里・乙訓

お茶の京都ＤＭＯ
2017年設立
2018年DMO法人登録

お茶の京都

宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、
久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、
精華町、南山城村

ROOTS of 海の京都

日本の源流を訪ねる巡礼の旅へ

天地山海にいきづく日本の源流～海の京都～

日本海に面する京都府北部地域は、古代より大陸文化の交流の窓口として栄え、皇室との縁も深く、多くの神話の舞台となりました。

五穀豊穣を司る女神「豊受大神」は、約1,500年前に丹波国から伊勢神宮に遷座されたと伝えられています。

また聖徳太子の母・間人（はしうど）皇后は6世紀末、大和政権の蘇我氏と物部氏との争乱を避け、今の京丹後市間人に子の厩戸皇子、後の聖徳太子とともに身を寄せられたと伝えられています。

自然の恵みと大陸文化により強大な古代文明（田庭〈タニワ〉が築かれた「海の京都」に残る国生み伝説の舞台（天橋立・久美浜）と自然への崇敬が生んだ海に一番近い暮らし（伊根の舟屋群）で「和の源流」を味わってください。

天橋立、太古から未来へと続くみち

日本三景の一つである天橋立は、雪舟も水墨画で描いた風景です。伝説によれば、天井にいたイザナギの命が天と地を行き来できるようにハシゴを作りましたが、イザナギが寝ている間にハシゴが倒れてしまい、それが天橋立となったとされています。この伝承は「丹後国風土記」に記されています。時代を経て、この界隈は聖地として知られるようになり、成相寺や智恩寺、籠神社と合わせて参拝することがトレンドとなりました。天橋立は参道のような存在であり、幕末の頃には参拝者で賑わったと言われています。天と地をつなぐハシゴのような天橋立の眺望は、旅の思い出として忘れられないものになるでしょう。

元伊勢籠神社・眞名井神社：
元伊勢籠神社は丹後一の宮として、丹後で最も格の高い古社

成相寺：紅葉ライトアップ

智恩寺

浦嶋伝説を訪ねて

伊根の舟屋から、車を走らせること約10分。昔ながらの鄙びた漁村があります。
ここにある浦島伝説は私たちが知っている浦島太郎と異なり、浦島太郎は、浦嶋子という名で、実は亀にも乗っていなかった！ということです。伝説を聞くために、浦嶋神社を訪ねてみましょう。
日本最古の浦嶋伝説を物語る絵巻や豪華な玉手箱も必見です。

浦嶋神社

伊根湾

古の原風景を求めて町を歩く

京丹後市は京都府の最北端に位置し、古代より大陸を望む日本の表玄関として開かれた地域でした。鉄や水晶を加工する技術にも優れ、当時の先進国として一大王国を形成しました。
日本海沿岸にある巨大な丹後三大古墳（蛭子山、網野銚子山、神明山）を見ると、当時の繁栄と豊かさが想像できます。
久美浜町ではかぶと山と呼ばれる神山や、二つに割れた巨大な磐座は4,000年も前、北極星を最高神として星と太陽信仰による祭祀が執り行われていました。
久美浜湾を取り囲むように海、山に点在する神秘的空間は人々と自然の密接なつながりを物語っています。

郷土料理 丹後ばらずし：
ハレの日には欠かせない。甘辛く煮た、さばのおぼろを使うのが特徴

04 福知山

明智光秀が築いた城下町

福知山は豊富な鮎の漁場としても知られる由良川流域の福知山盆地に開けた街。市内に縄文時代から点在する遺跡などから、縄文時代から、この地域にも人々の営みがあったと言われています。
戦国時代、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が、福知山城を築き、この地は城下町として栄えました。築城の時、「ドッコイセ」という掛け声のもと、町衆が一致団結して石材などを運び、その掛け声に、身振りがつき、おもしろおかしく唄い出したのが、現在も親しまれている「福知山音頭」の始まりとされています。
出雲、北近畿などへの交通の要所だったことで、文化も栄え、明治末期に大阪や京都への鉄道が開通すると、北近畿の交通の拠点としてさらなる発展を遂げました。

御霊神社:
地元では「ごりょうさん」と親しまれる、明智光秀を祀る神社

お城まつり

05 舞鶴

国の重要港湾に指定されている舞鶴港

湾の入り口にあたる浦入遺跡で日本最古級（約5,300年前）の縄文丸木舟が発見され、このことは舞鶴という街がもつ歴史が深いことが分かります。
関ヶ原の前哨戦となった田辺城籠城。落城寸前のところ、天皇の御勅命で石田軍の包囲網が解かれ講和に至ったのは、のちの語り草になっています。
明治になり、舞鶴鎮守府が開庁すると、一気に近代的で異国情緒あふれる軍港として発展を遂げました。

舞鶴港：舞鶴港で、終戦から13年間で出迎えた引揚者の数は約66万人にのぼった。その記録資料は、ユネスコ世界記憶遺産に登録された

田辺城と舞鶴公園

06 綾部

昔ながらの田園風景や美しい里山が今も息づく街

遺跡も点在し、悠久の時間とともに綾部に寄り添ってきた由良川は、ゆったりと日本海に流れ込み、文化や歴史を育みました。
地理的にこの地は丹波国に属し、優れた機織り技術を持つ漢氏（あやし）と秦氏（はたし）が住み着き、朝廷に属する部曲として漢部（あやべ）となり、それが地名の由来となっています。
糸の産業は以後、「グンゼ」が受け継ぎ、街の発展に大きく寄与しました。

あやべグンゼスクエア：
この地に生まれた波多野鶴吉は、地場産業である蚕糸業振興と地域の発展のため「郡是製絲(ぐんぜせいし)」を創業。綾部駅の北口に位置する「グンゼ」は、近代蚕糸産業を支えた歴史的資料を数多く残している

黒谷和紙：源平の乱に敗れた平家落人が、黒谷に身を潜め、近隣に自生していた楮(こうぞ)を使って紙を作ったことが始まり

07 与謝野

丹後半島の付け根に位置する町

肥沃な扇状地と豊かな水源に恵まれた一帯には、大きな古墳が数多く存在し、丹後王国の強大な権力の中心地だったかもしれない…という謂われがあります。
また、古来より、この丹後地方では織物業が営まれ、古くは丹後国から献上された「あしぎぬ」が、正倉院に残されています。
そして現代において、高級絹織物の丹後ちりめんは、基幹産業としてこの地域を支え発展させ、今もなお、機織りの音が響きます。

ちりめん街道：明治の織物工場や木造・土塀の町家などの明治・大正・昭和の建造物が建ち並んだ、丹後と京都を結ぶ丹後ちりめんの物流の拠点として栄えた街並み

与謝野町立古墳公園：大江山を望む小高い丘には蛭子山古墳と作山古墳を1600年前の姿に復元整備した公園

<元伊勢籠神社>

<成相寺>

<金引の滝>

「海の京都」の中心地

日本三景「天橋立」で知られ、
海の京都エリアを代表する
観光都市。
四季折々の美しい景色と
豊かな海産物・農産物はもちろん、
古来より人々の崇敬を受ける寺社、
かつての城下町や北前船の
寄港地を偲ばせる町並みは、
国内外問わず
多くの人を惹きつけています。

エリア 伊根町

<もんどり漁体験>

<舟屋景色>

<舟屋宿>

日本で最も海に近い暮らし

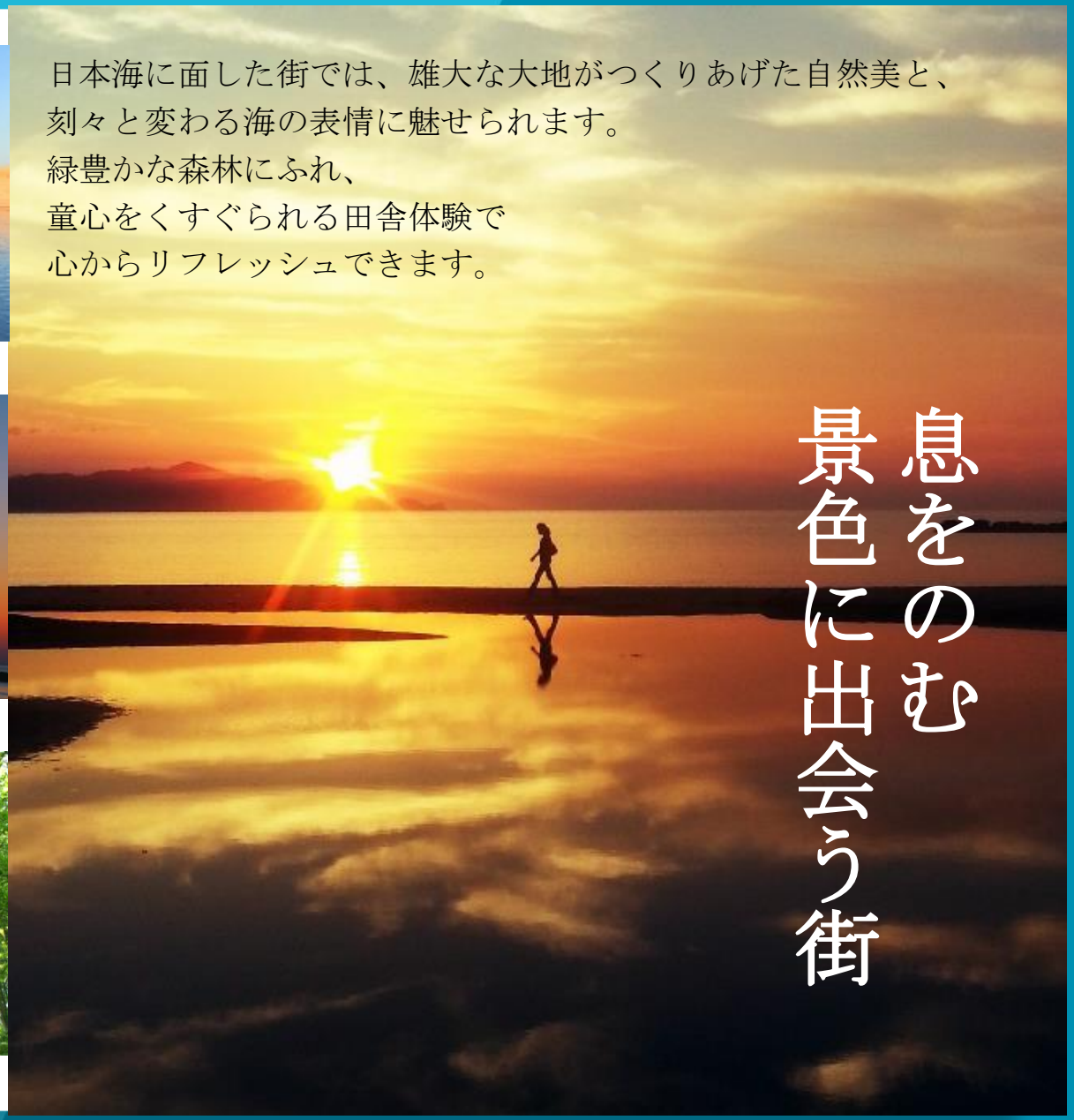
伊根町には「舟屋」が伊根浦地区に約230軒立ち並んでいます。
その独特の景観とそこに息づく人々の暮らしから、
国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、
「日本で最も美しい村」連合にも加盟しています。

エリア 京丹後市

<立岩>

<夕日ヶ浦の夕日>

<ブナ林>



日本海に面した街では、雄大な大地がつくりあげた自然美と、
刻々と変わる海の表情に魅せられます。
緑豊かな森林にふれ、
童心をくすぐられる田舎体験で
心からリフレッシュできます。

息をのむ
景色に出会う街

エリア 福知山市

<福知山城>

<大江山>

<足立音衛門・栗のテリーヌ>

雄大な自然と歴史に満ちる町

明智光秀が築いた城下町　福知山市。
まちのシンボルである福知山城の
天守閣からは、城下町と由良川が一望できます。
また、「鉄道のまち福知山」として発展してきた歴史を、
今年オープンした福知山鉄道館で体感できます。
幻想的な大江山の「雲海」、
知る人ぞ知る「肉とスイーツのまち」など、
このまちは様々な魅力にあふれています。

<海軍ゆかりの港めぐり遊覧船>

<舞鶴引揚記念館>

<サカナテラス　赤れんがパーク店>

いくつもの表情で魅せる街

海上のプラネタリウムが楽しめる「舞鶴親海公園」、
代表的な文化財である「赤れんがパーク」、
海産物が味わえる「舞鶴港とれとれセンター」。
舞鶴市は、見る・歩く・食べるを楽しむためのスポットが
盛りだくさんです。

<あやべグンゼスクエア　バラ園>

<あやべグンゼスクエア>

<黒谷和紙>

大きな自然に癒される街

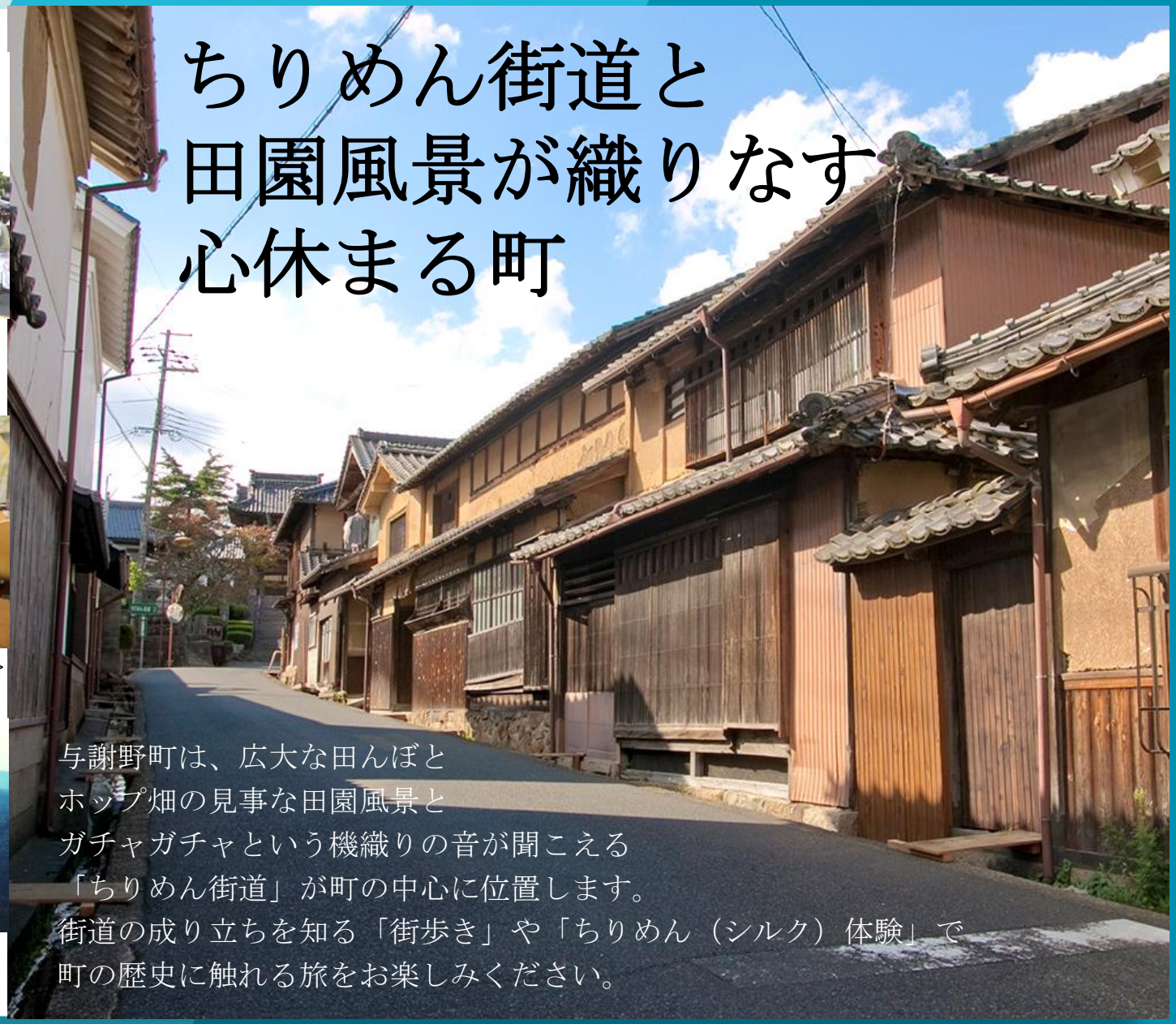
古き良き街並みと美しい日本の原風景が
今も息づく綾部。
歴史や文化を物語る国宝や史跡、
四季の訪れを知らせてくれる花々、
豊かな自然が育むグルメなど、
ゆったりとした癒しのひとときを
楽しむことができます。

エリア 与謝野町

＜ちりめん街道
観光ガイドツアー＞

＜シルク体験・コースター作り＞

＜与謝野町田園地帯＞



ちりめん街道と田園風景が織りなす心休まる町

与謝野町は、広大な田んぼと
ホップ畑の見事な田園風景と
ガチャガチャという機織りの音が聞こえる
「ちりめん街道」が町の中心に位置します。
街道の成り立ちを知る「街歩き」や「ちりめん（シルク）体験」で
町の歴史に触れる旅をお楽しみください。

▲福知山城

ぐるっと海の京都1泊2日～福知山・綾部・天橋立・伊根

海の京都の玄関口、当時の風格を再現した「福知山城」と福知山城公園内に令和5年に誕生した「福知山鉄道館フクレル」。養蚕が盛んだった綾部市が創業の地、繊維メーカー「グンゼ」の歴史とともにあやべグンゼスクエア併設のバラ園では、春と秋には120種1,200 本のバラが咲き競います。
天橋立へチェックイン！お宿でゆったりとお過ごしいただき、翌日は天橋立と伊根湾を満喫。

福知山城・フクレル － グンゼ博物苑 － 天橋立温泉 － 伊根の舟屋群 向井酒造 伊根湾遊覧 － 傘松公園

福知山鉄道館
フクレル▶

◀あやべ
グンゼスクエア

傘松公園▶

	モデルコース
1日目	（東京）＝＝福知山（12:00頃：昼食）＝＝**福知山城・福知山鉄道館フクレル**＝＝ ＝＝**グンゼ博物苑**・バラ園＝＝**天橋立温泉**（17:00頃）
2日目	ホテル（9:00）＝＝**伊根の舟屋群・向井酒造・伊根湾遊覧**＝＝**傘松公園**（股のぞきと昼食）＝＝ 海産物お買い物（15：30頃）＝＝（東京）

▲向井酒造
古代米を使ったお酒

▲五老スカイタワーから舞鶴湾

産業と街を巡る　海の京都2泊3日

～福知山・綾部・舞鶴・与謝野・伊根・天橋立

海の京都の発展を垣間見る福知山・綾部から舞鶴へ。
赤れんがパークや舞鶴湾でゆったりした後に、ちりめん街道で街並み散策とコースター作りの体験のあと、天橋立で温泉でほっこり。
伊根の浦嶋神社で宮司さんから浦嶋伝説を聞き、玉手箱を見た後は、天橋立の景色で旅を締めくくり。

グンゼ博物苑 福知山城 → 五老スカイタワー 港めぐり遊覧船 赤れんがパーク → ちりめんコースター作り ちりめん街道 → 天橋立温泉 → 伊根湾遊覧 伊根の舟屋群 → 浦嶋神社

赤れんがパーク▶

▲旧尾藤家住宅（ちりめん街道）

▲浦嶋神社

	モデルコース
1日目	（東京）＝＝福知山（12:00頃：昼食）＝＝**福知山城**・福知山鉄道館フクレル＝＝**グンゼ博物苑**・バラ園＝＝ ＝＝舞鶴（17:00頃）
2日目	ホテル（9:00）＝＝**赤れんがパーク～～（港めぐり遊覧船）**～～舞鶴（昼食）＝＝ ＝＝**五老スカイタワー**／舞鶴湾一望＝＝与謝野町／**ちりめん街道とちりめんコースター作り**＝＝ ＝＝与謝娘酒造／酒蔵見学・試飲＝＝**天橋立温泉**（17:00頃）
3日目	ホテル（8:30）＝＝**伊根の舟屋群**・向井酒造・**伊根湾遊覧**＝＝ ＝＝**浦嶋神社**／宮司から浦嶋伝承絵巻の解説・玉手箱を拝見＝＝傘松公園／股のぞき＝＝ ＝＝海産物お買い物（15:30頃）＝＝（東京）

▲夕日ヶ浦

夕日の景色と温泉・食・体験の2泊3日
～網野・久美浜・間人・伊根・天橋立

鳴き砂で有名な琴引浜と
夕日の景色が美しい夕日ヶ浦温泉
でゆったり。
丹後のフルーツや食・ユネスコジオパークに触れながら、
たっぷりと体験を楽しむ旅は、
思い出づくりに最適です。

丹後大宮 ― 金刀比羅神社・琴引浜 ― 久美浜フルーツ狩り ― 間人温泉 刀鍛冶見学 提灯作り体験 ― 伊根湾遊覧 伊根の舟屋群 ― 天橋立・傘松公園

	モデルコース
1日目	（東京）＝＝**丹後大宮**（12:00頃：昼食／郷土料理ばらずし）＝＝**金刀比羅神社**／日本唯一の招き猫と招き猫絵付け体験＝＝＝**琴引浜**／鳴き砂文化会館で鳴き砂体験＝＝夕日ヶ浦温泉（17:00頃）
2日目	ホテル（9:00）＝＝**久美浜フルーツ狩り**＝＝丹後王国「食のみやこ」（お買い物と昼食）＝＝＝＝**小嶋庵で提灯（ちび丸）作り体験**＝＝**日本玄承社／刀鍛冶見学**＝＝**間人温泉**（16:30頃）
3日目	ホテル（8:30）＝＝経ヶ岬（車窓）＝＝**伊根の舟屋群**・向井酒造・**伊根湾遊覧**＝＝府中（昼食）＝＝＝＝**傘松公園**／股のぞき＝＝海産物お買い物（15:00頃）＝＝（東京）

▲小嶋庵で
提灯（ちび丸）作り体験
※収容人員超えの場合は
ホテル宴会場で実施

▲日本玄承社　刀鍛冶見学
※人数制限あり

海の京都・舞鶴～北陸新幹線「敦賀駅」をつなぐ2泊3日

海の京都エリアは舞鶴市を玄関口に、敦賀市・小浜市からもアクセス抜群！
石川県・福井県との北陸新幹線と東海道新幹線の周遊ルートもぜひご検討ください！

三方五胡 ― 港めぐり遊覧船 舞鶴赤れんがパーク ― 伊根湾遊覧 伊根の舟屋群 ― 傘松公園 ― 天橋立温泉 ― グンゼ博物苑 ― フクレル 福知山城

	モデルコース
1日目	**（東京方面より北陸新幹線移動）** 敦賀駅（10:00頃）＝＝**三方五胡**／レインボーライン山頂公園＝＝小浜（昼食）＝＝ ＝＝**舞鶴赤れんがパーク・港めぐり遊覧船**＝＝舞鶴（18:00頃）
2日目	ホテル（9:00）＝＝**伊根の舟屋群**・向井酒造・**伊根湾遊覧**＝＝ ＝＝浦嶋神社/宮司から浦嶋伝承絵巻の解説・玉手箱を拝見＝＝ ＝＝**傘松公園**（股のぞきと昼食）＝＝**天橋立温泉**（17:00頃）
3日目	ホテル（9:00）＝＝**グンゼ博物苑**＝＝若宮酒造＝＝ ＝＝福知山（昼食）＝＝**福知山城・福知山鉄道館フクレル**（15:00頃）＝（東京）

◀三方五湖
レインボー
ライン山頂公園

浦嶋神社
宮司さんから
浦嶋伝承絵巻の解説 ▶

◀若宮酒造

いっしょに、いこな！
＼大阪・関西万博／

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

大阪・関西万博から周辺観光
～足を延ばして海の京都へようこそ2泊3日

大阪・関西万博 ― 福知山城 ― 天橋立ビューランド ― 天橋立温泉 ― 伊根湾遊覧 伊根の舟屋群 ― 真名井神社 元伊勢籠神社

大阪・関西万博へは期間中多くのお客様がお越しになられることから、
周辺観光も混雑が予想されるため、お早めの計画をおすすめいたします。

大阪からの玄関口「福知山」から海の京都エリアへのアクセスルートをご案内します。
都会的な万博会場とはまた違った、
自然と文化あふれる、海の京都エリアの観光をお楽しみください。

	モデルコース
1日目	（東京）＝＝**大阪・関西万博**＝＝大阪・京都 等（泊）
2日目	（各地）＝＝福知山（12:00頃・昼食）＝＝**福知山城**・福知山鉄道館フクレル・ 焼菓子の足立音衛門＝＝**天橋立ビューランド**（股のぞき）＝＝**天橋立温泉**（17:30頃）
3日目	ホテル（8:00）＝＝智恩寺など文殊地区散策＝＝**伊根の舟屋群**・向井酒造・**伊根湾遊覧** ＝＝府中（昼食とお買い物）＝＝**元伊勢籠神社・真名井神社**（15:00頃）＝＝（東京）

▲福知山城

▲智恩寺とおみくじ

伊根湾遊覧▶

◀天橋立
ビューランド

ご堪能！ご当地グルメ

春

●アカガレイ（春）

袋状の網を海底におろし、水深120m～400mを船でひきまわしてとる底曳網漁で漁獲されます。焼き物や煮付け、揚げ物用食材として流通、販売されています。活きたまま港まで持ち帰った後、活〆処理し刺身で食べることのできる高鮮度のアカガレイを「活〆京のあかがれい」としてブランド化に取り組んでおり、京都府のプライドフィッシュに選定されています。

夏

●丹後とり貝（春・夏）

京都府北部「丹後地方」限定、初夏（4月下旬～6月下旬頃）だけの味！丹後とり貝は大型肉厚、それでいて柔らかくて独特の甘みが特徴です。一般に流通しているトリガイの殻の大きさが6cm前後に対して京都府産のものは8.5cm以上（大サイズ）と大型です。

●いちご（春）

丹後地域でイチゴ栽培が始まったのは、昭和50年頃の宮津市栗田地域とされています。最近では京丹後市、与謝野町、福知山市、舞鶴市、綾部市でも栽培されており、京都府北部は太平洋側の産地に比べ、冬から春の温度が低く、果実がじっくり完熟するので、甘くて美味しいと言われています。品種は「章姫（あきひめ）」が多く、直売や地元スーパーでの販売に加え、体験農園も行われています。

●マアジ（春・夏）

日本海側で漁獲されるマアジは、その大部分が「クロアジ」と呼ばれ、東シナ海で生まれ、日本海を南北に回遊します。一方、丹後の海で育ったマアジは「キアジ」と呼ばれ、大きな回遊を行わないので、脂の乗りがよく「クロアジ」よりも味が良いことから市場でも高値で取引されます。主に定置網で漁獲され、春から夏にかけて旬を迎えます。特に沿岸（瀬）に棲みつくアジは脂がたっぷりとのります。刺身、焼き物、煮付けなど、どの料理にも相性の良い素材です。

画像はイメージです。

ご堪能！ご当地グルメ

●牡蠣（かき）（夏・冬）

5月～8月は生食で美味な大型の岩がき、
冬期は炭火焼、蒸し焼き等で美味な
真牡蠣（マガキ）を召し上がることができます。
牡蠣は、舞鶴市（舞鶴湾）、京丹後市（久美浜湾）、宮津市（宮津湾・栗田湾）、伊根町（伊根湾）で育成養殖が盛んで、年月をかけて育てられ牡蠣の品質は非常に高く全国へ出荷されたり、地元の飲食店舗や宿泊施設で提供されています。

秋

●丹後ぐじ（秋）

京都では主に釣り・延縄漁で漁獲されるアマダイ。水深50～120mの海底の砂・泥場に巣穴をつくり、えび・かに・小魚を食べ育ちます。その中でも、アカアマダイは「丹後ぐじ」としてブランド化されています。淡白で甘味があり上品な味は、お造り、焼き物、お吸い物などで楽しむことができます。

●万願寺甘とう（秋）

万願寺甘とうは、舞鶴市の万願寺地区が発祥とされ、大型で肉厚、タネが少なく甘いのが特徴です。辛くないので、子どもからお年寄りまで安心して食べられます。素焼きや素揚げなど丸ごと食べるのが一般的ですが、刻んで塩昆布と炒めたものは京のおばんざいとして定番料理になっています。

●ぶどう（秋）

丹後では、昭和20年代から本格的に栽培が始まり、今では京都府産ぶどうの3割以上を生産する府内一の産地となっています。丹後は春から秋の降水量が少なく、ぶどうにとって栽培に適した地域 で、朝の気温が低いため、ぶどうの色づきが良く、 味が濃く品質良いぶどうが生産されています。

画像はイメージです。

ご堪能！ご当地グルメ

冬

●京のずわいがに（冬）

日本海に面する京都府北部は松葉ガニの宝庫です。
カニ漁が解禁される11月6日～3月20日頃まで当地の港は大いに賑わいをみせます。
また、京都北部には厳しい選別により認められたタグ付きのブランドガニが存在します。丹後半島にある間人漁港の「間人ガニ」、舞鶴港の「舞鶴かに」は全国的にも有名です。 メスは「コッペガニ（せこがに）」と呼ばれ、小さいながら身がしっかり詰まり、濃厚なカニ味噌に加え、甲羅にある朱色の内子とプチプチとした食感の外子が美味です。
蟹の産地である京都北部「海の京都」へお越しいただき、
美味しい蟹を是非お召し上がり下さい。

●京の寒ぶり（冬）

海の京都（伊根町）は富山県氷見市、長崎県の五島列島と並んで「日本三大鰤漁場」のひとつに数えられています。
水温がグンと下がる晩秋から冬にかけて、良質の脂を蓄えたブリが水揚げされます。 ブリを扱った飲食店舗も多く、特に「ぶりしゃぶ」が人気で、晩秋には全国各地から大勢のグルメ愛好家が当地の「ぶりしゃぶ」を求めてご来訪されています。 ランチで「ぶりしゃぶ」を食べれるお店も沢山ありますので是非ご利用下さいませ。

●イカ（通年）

海の京都では一年を通じて色んな種類のイカが水揚げされています。春～夏は高級イカとして名高いこの丹後半島で「白イカ」と呼ばれている剣先イカ。

通年

秋～春（春は親イカ）はイカの王様と評される「アオリイカ」。真冬に揚がる細長く尖った「ヤリイカ」。イカを扱った飲食店舗、宿泊施設も多く、このイカ料理を目当てに大勢のお客様がご来訪されています。

画像はイメージです。

周遊ネットワーク

海の京都の周遊ネットワーク
夕日ヶ浦・久美浜エリア
伊根浦舟屋群エリア
天橋立エリア
ちりめん街道エリア
舞鶴・赤レンガパークエリア
福知山城エリア（お城とスイーツ）
綾部まちなかエリア
（グンゼから大本に至るまちなみ）
至 城崎
至 敦賀
至 大阪
至 京都
京都府
豊岡市
京丹後市
伊根町
宮津市
与謝野町
舞鶴市
福知山市
綾部市
浜詰・夕日ヶ浦
木津温泉
久美浜
KTR
伊 根
天橋立
野田川
豊 岡
東舞鶴
西舞鶴
大 江
福知山
綾 部
J R
KTR
バス
航路

海の京都
コイン
「海の京都コイン」
はじめました。

海の京都コイン
すぐにつかえる
ふるさと納税
寄附金額の30%を
返礼品としてお届けします
当店でもご会計にご利用いただけます